

2000年1月28日

内閣総理大臣

小渕 恵三 殿

日 本 科 学 者 会 議

事務局長 岩佐 茂

Tel 03-3812-1472 Fax 03-3813-2363

＜事務局長談話＞の送付について

「比例定数削減法案」の強行採決に抗議し、下記のように日本科学者会議事務局長談話を発表いたしましたので、ここにお送りいたします。

よろしくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

記

＜日本科学者会議事務局長談話＞

「比例定数削減法案」の強行採決に抗議し、国民に信を問うことを求める

自民・自由・公明の3党は、1月27日夜、衆議院において全野党が欠席する中で、衆議院の比例定数削減法案を強行「可決」させた。これは、「円満な話し合いによる解決」をもとめた議長裁定に背く暴挙であり、議会制民主主義を破壊するものである。

本会は、昨年10月24日の声明で述べたように、この法案に対しては、選挙制度をいっそう非民主的なものにするとして強く反対してきた。このことをあらためて確認すると共に、そうした法案を、全野党の強い反対があるにもかかわらず、数を頼んで強行することは、国民の政治不信をますます強める結果をもたらすことを指摘せざるをえない。

このような事態に立ち至った以上、国会は直ちに解散を行い、総選挙により国民の審判を仰ぐべきである。

2000年1月28日

日本科学者会議事務局長 岩佐 茂